



看護学生に対する自己学修支援に関する研究

保健福祉学部 看護学科

講師 池田ひろみ (いけだひろみ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3519号室

Tel Fax

E-mail hikeda@pu-hiroshima.ac.jp

*@は半角に置き換えてください

専門分野： 基礎看護学

キーワード： 教育、看護学生、自己学修支援、生活習慣、認知機能

● 現在の研究について

○看護学生にとって効果的かつ効率的な教育・自己学修支援についての研究を行っています。

大学教育において、学生は「受動的学習」ではなく、「能動的学修」をすることを身に付け、卒業後自身が社会に貢献する上で必要な知識や技術を習得することが求められています。それに伴い、教員には学生の能動的な学修を観察し、自発性を支援、促進させるような働きかけが必要となります。そして近年、看護学教育においては、看護実践能力の育成に向けて、学生の自己学修を支援するために、コンピューターの活用が注目され、多くの看護教育の場で導入されてきています。

主に CAI (computer assisted instruction) の教材を活用した自己学修支援システムについての検討を行っています。教材を講義や演習、臨地実習などの予習・復習として活用することにより、学修の理解が深まり、より高い学修効果が得られると考えます。

○中高年女性を対象とし、加齢に伴う疾患と自律神経機能・日常生活習慣・認知機能との関連について研究を行っています。

加齢に伴って発症する疾患の予防や身体機能・精神的機能の低下防止につながり、日常生活動作 (activities of daily living: ADL) や生活の質 (quality of life: QOL)

の向上・維持に役立つと考えます。

● 今後進めていきたい研究について

○作成した CAI 教材の活用方法や、利用しやすいホームページの作成などを検討していきたいと考えています。また、コンピューターや情報通信技術 (ICT: Information and Communication technology) を活用し、効率的に自己学修を支援できるツール開発と活用方法について検討していきたいと考えています。

○中高年女性を対象として、定期的に骨密度検査・動脈硬化検査・認知機能検査などの検診を行っています。経年的に検診を行うことで、骨密度や動脈硬化、脳機能への影響や改善効果について縦断的に検討していきたいと考えています。

● これまでの連携実績

○「健骨・健康増進セミナー」での検診および公開講座に参画している。公開講座では、これまでに、生活習慣病や認知症予防についてのテーマで行っています。

○近隣地区の保健福祉医療従事者を対象とし、2ヶ月に1回のペースで人の動きに関する研修会を行っています。